

授業科目名・形態	福祉行財政と福祉計画	講義	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	林 宏二	開講期	3年後期	単位数	2

【授業の主題】

福祉サービスや支援は、国が基本的な政策の方向を示し、市町村をベースとし、行政とサービス利用者である住民及び事業者が参加して策定された計画に基づいて実施できるようになっている。このようなことから、社会福祉士にとって不可欠な事項となっている、福祉行財政の実施体制や動向とその実際及び福祉計画の意義や目的、主体と方法、留意点についての理解を深めていく。

【到達目標】

福祉行財政の実施体制や動向とその実際及び福祉計画の意義や目的、主体、方法、留意点についての理解を基本的な目標とする。

【授業計画・内容】

- 第 1回 福祉の法制度、福祉計画の概要
- 第 2回 行政、社会福祉と法制度
- 第 3回 福祉行政の組織、社会福祉基礎構造改革
- 第 4回 財政と社会福祉、民生費
- 第 5回 民間福祉事業者の財源、福祉サービス利用と費用負担
- 第 6回 サービスに関する情報提供・相談、申請と決定、契約、サービス利用までの流れ
- 第 7回 福祉行政における相談体制、専門諸機関、地域の相談システム
- 第 8回 福祉行政機関の専門職
- 第 9回 福祉計画の目的と意義
- 第 10回 福祉計画の基本的視点
- 第 11回 福祉計画の過程と留意点
- 第 12回 福祉計画におけるニーズ把握、計画の評価
- 第 13回 福祉計画における住民参加
- 第 14回 福祉計画の実際①老人福祉計画、介護保険事業計画、障害者計画、障害福祉計画
- 第 15回 福祉計画の実際②次世代育成支援行動計画、地域福祉計画

【授業実施方法】 基本的には講義形式で行う。

【授業準備】 関連する科目の講義内容で学んだ制度を再確認しておくこと。

【主な関連する科目】 社会保障論Ⅰ・Ⅱ、権利擁護と成年後見、地方自治と財政

【教科書等】 社会福祉士養成講座編集委員会編 10「福祉行財政と福祉計画」中央法規出版
社会福祉小六法 中央法規出版

【参考文献】 必要に応じて講義中に紹介する。

【成績評価方法】 平常点 10%、レポート 10%、小テスト 10%、期末試験 70%で評価する。60%以上の得点を合格とする。

【学生へのメッセージ】

報道等における、国・地方の福祉行財政の動向、福祉計画への取り組みに関心を持ちながら主体的に受講し、授業を欠席しないこと。また、法律的な内容も含まれることから、福祉小六法を持参すること。